

2019-1-1  
No.1036 500円

# 思想運動

活動家集団 思想運動

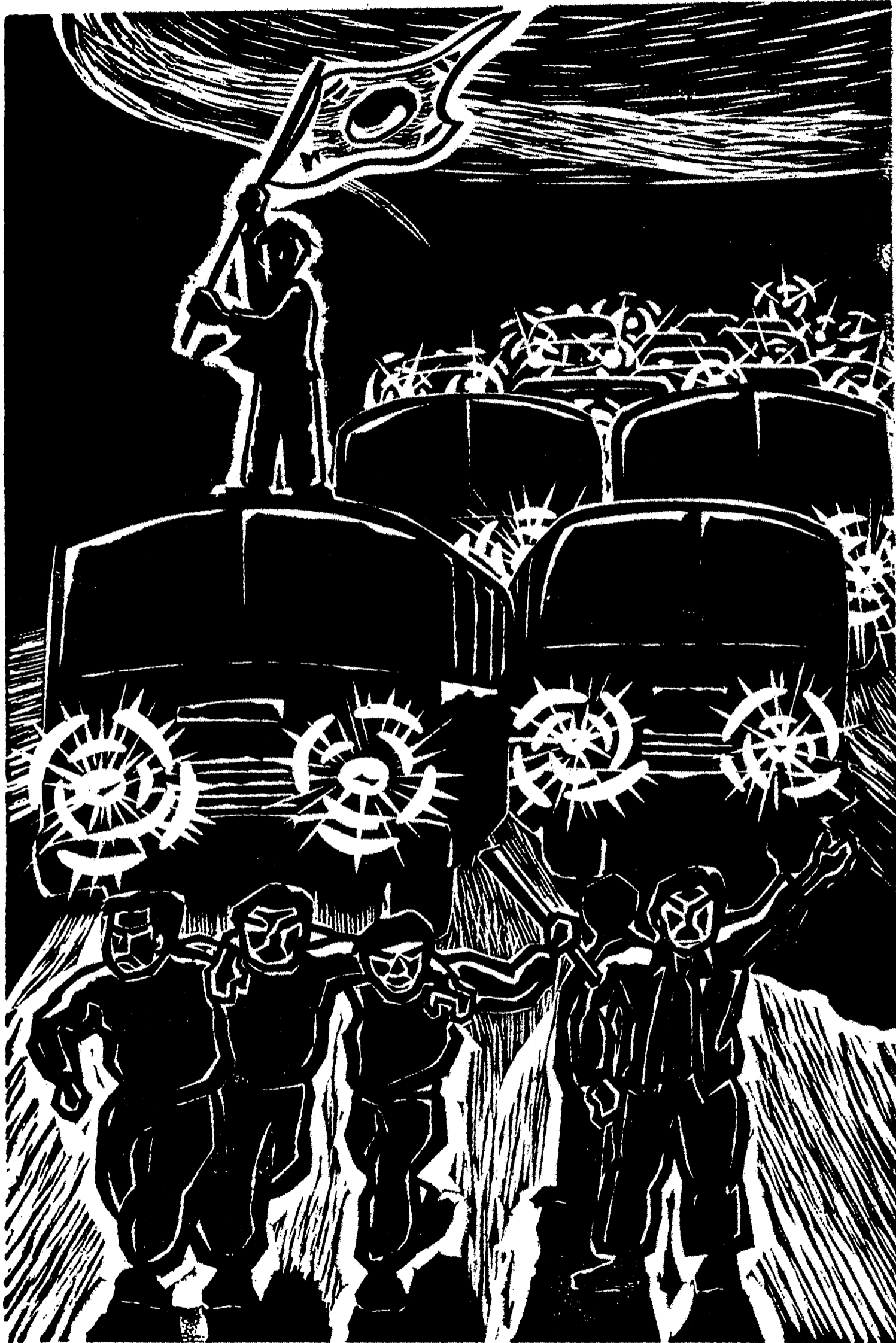
発行・小川町企画 〒113-0033 東京都文京区  
本郷3の29の10 飯島ビル1階 ☎03-3818-  
6671 FAX03-3818-3199 (郵便振替)00190-0-758235  
小川町企画・関西連絡先 ☎080-4700-6461  
HP <http://www.shiso-undo.jp/>  
購読料:年間6,000円 半年3,000円(送料共)

## 決定的なものは大衆である

(一九八〇年)五月二十七日 虐な破壊行為をほたらいた。階級は、このおとるべき奮行未明、韓国戒厳軍一六〇〇 戒厳軍は、これまで一貫してをいつまで続けるのか。〇人は韓国西部の中心地光州に突入、壊滅的な攻撃をくつていた光州市民にたいし、権力による、いかなる血なまわえなうえ、七〇万市民が自その人間としての品位をじゅくさい虐殺も、人民大衆の抵抗する反政府コミュニンにたうりんしながら風つぶしの殺抗の意志まで庄殺することのいし、考えられるかぎりの残りくに熱中した。韓国の支配できないことをわれわれは知

っている。

(中略)一言にしていえば、光州コミュニンは民主主義の適用方法の模範を身をもって実践しようとしたのである。光州の秩序は維持されてい七月にいたるはほ一〇日間の光州の大衆の強力な、断固とした行動力と知性のかげやきはソウル政権の臆病さ、殘忍さ、迷妄とは対照的である。五月二十七日、光州市内に殺到した戒厳軍は暴虐のかぎりをはたっているが、どのような弾圧も、またあるいは、一九八〇年六月一日号、一面主張「民主主義の典型」光州蜂起」より



ホン・ソンドム(韓国) <五月-21 旗> (1988年、関連記事10・11面)

「狂犬全斗煥一派を追い出すことができなければ、われわれが子孫に残す遺産はかぎりない抑圧と搾取のみであることを肝に銘じ、われわれみな闘争の第一線に立ちあがって、愛国歌を声の限りに歌いながら前進しよう。」(一九八〇年五月二十二日、光州市内で配布された朝鮮大学校民主化闘争委員会のビラより)

<政治> HOWS校務員会討議「闘いの起点をどこにみるか」…………… 2~3面	<国際> 仏「黄色いベスト」運動、政府に譲歩を強いる(沖江和博)…………… 7面
<政治> 【エッセイ】あなたはどのようにするのか? (目取真俊) / 【エッセイ】日本「国民」にこそ求められている「積弊清算」(康成銀) / 【連載】象徴天皇制を撃つ(山下勇男) / 明仁を美化する思想状況を批判する(清水雅彦) …… 4・5面	<国際> 【キューバ革命60年】女性政策に買われる社会主義革命の精神 - 8・9面
<労働> 地域・市民の中に打って出る地区労運動 / 関西生コン支援東京集会… 6面	<文化> 【展評】『闇に刻む光 アジアの木版画運動1930s - 2010s』(田代ゆき)
	【小説】フィオナ——希願よ!(黄英治)…………… 10・11面
	<文化> 紙つぶて / レイパーフェスタ2018 (岡野奈保美)…………… 12面